

## 新旧対照表

【分類例規（昭和60年12月23日蔵関第1299号）】

(注) 下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
(削除)	<p><u>2505.10</u></p> <p><u>1. Natural sand</u></p> <p>本品は粒径 0.2~0.5 ミリメートルの天然の砂（河口砂） で、土木建築用砂として販売、使用されるものである。分析 の結果その組成は、<u>SiO<sub>2</sub> 90.86%</u>、その他<u>Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub></u>、<u>Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub></u>等であ る。本品は、粘土分（日本産業規格 G5901 の方法による。） <u>0.3082%</u>であるが、安山岩質等の砂を含有し、酸化鉄に由来 すると考えられる褐色を帶びている。</p> <p>本品は石英粒を主とする砂で、<u>SiO<sub>2</sub></u>の含有量は85%（乾燥 状態において）以上であり、また、粘土分も低いので、本号 に属する。</p>